

10月号

School Aid Japan

スクール・エイド・ジャパン



Dream通信

2010. 10. No.31

**10月より新年度スタート！
～始業式での伝統舞踊披露～**



高校生になりました！
入学式には新しい制服を
着て行きました！



皆さんこんにちは。長かった夏休みも終わり、10月1日より、新年度がスタートしました。新しく小学校に入学する子や、校舎が変わる子、中学生になる子、高校生になる子、と皆それぞれの新しい一年がスタートしました。今回はそんな新しい門出の入学式、始業式の様子をお伝えします。

始業式

始業式当日はいつも通りの朝6時半に皆揃って登校です。いつも以上に元気に騒ぐ子どもたち。きっと新学年にあがることや、クラスが変わることにととてもわくわくしているのでしょう。

小学3年生までは近くの小学校に歩いて通っています。今日から新1年生の子どもが1人。2年生、3年生のお兄ちゃん・お姉ちゃんに連れられて、学校に向かいました。今まで1年生で一番年下で甘えてきた子どもたちも一つ下の弟が出来たことで、少し大人になりました。

小学4年生から中学3年生は同じところで始業式です。学校が目のあるため、小中学校合同で式を行います。さて、その始業式で、園の子どもたちは伝統舞踊を披露することになりました。実は、始業式の1週間前に、子どもたちの通う中学校から、園の子どもたちに是非、始業式で伝統舞踊を披露してほしい、とのお願いがありました。もちろん子どもたちは大喜び！前日の夜には、自ら進んで練習する姿が見られました。

さて、当日は学校に着くとすぐに踊りの衣装の着付けです。普段はやらないお化粧に子どもたちも嬉しいやら、恥ずかしいやら。始業式では踊りを3曲披露しました。最初はとても緊張した顔つきで踊っていた子どもたちも、最後には笑顔で踊れるようになりました。失敗を恐れることなく、普段の練習の成果を最大限に出し切った子どもたちに、周囲の観客の皆さんから盛大な拍手が送られ、照れくさそうにしている子どもたちの姿が印象的でした。



練習の成果を発揮しました！



観客の方より記念品の贈呈！



お坊さんに祈願して頂きました。



久しぶりの家族に会える喜びでいっぱい！



お土産の写真を手に、いざお家へ！



家族の皆さんも心待ちにしています。

健康・安全を祈願

10月7日から9日はカンボジアのお盆でした。ここカンボジアには お盆にお坊さんと呼ぶという習慣が古くから根付いています。そこでお盆よりちょっと早めの10月4日に、園にお坊さんを招待し、子どもたち・職員全員の健康・安全を祈って頂きました。

子どもたち・職員全員正装して、お坊さんを出迎え、約30分ほど、お経を読んで頂きました。そして、お坊さんより、子どもたちに『勉強を頑張ること』『職員の皆さんの言うことを良く聞く事』『健康でいられることに感謝すること』などのお話をして頂きました。

また、健康・安全祈願をお願いした後は、日本の皆様の健康や繁栄もしっかり祈って頂きました。

お盆の帰省

園では年に2回、子どもの帰省日を設けています。1回目はカンボジア正月、これは4月に当たります。そして2回目は カンボジアのお盆です。

今年は10月の7日から10日がカンボジアのお盆に当たる為、子どもたちは6日から11日までの6日間、それぞれの養い親の元に帰省しました。普段は園で仲間と楽しく暮らしている子どもたちも、この日ばかりは育った家に帰れるとあって、何日も前からとても楽しみにしていました。

子どもたちはそれぞれの地域のグループに分かれて帰省します。一番遠い子どもは園から車で6時間ほどのところに家があります。さらに車から降りて、歩いて20分ほど。道中、普段は乗りなれない車に乗ってすぐ車酔いになってしまう子どもがいたり、用意してもらったご飯を出発してすぐに全部食べてしまい、友達のご飯を分けてもらう子どもがいたり、とても賑やかな車内でした。

子どもたちは皆、家に着くととても嬉しそうに『ただいま』と言います。お家の人も子どもたちが帰って来ることを楽しみにしてくれているようで、帰って来た子どもたちに、『大きくなったね』『ちゃんと勉強してる？』などの温かい言葉を、笑顔とともに投げかけていました。

いつも数多くの気付きを与えてくれる子どもたちに心から感謝するとともに、限られた時間の中でもしっかりと家族へのお手伝いや恩返しができる様、また羽目を外して怪我をして帰って来ることのない様、子どもたちの成長をただ祈るばかりです。